

講義名	(対面)品質管理論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	持田 信治		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 1時限	授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース / 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース / 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース / 2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース / 2018年度 人間社会学部 観光学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要 本講義はものづくりやサービスにおける品質を理解することを主題とする。 ものづくりやサービスに於いて品質の確保は最重要課題である。そこで、本講義では品質の定義及び考え方の説明を行い、品質の管理と維持方法について説明する。 加えて本講義は品質管理検定3級、4級程度の実力を身につけることを目標とする。
--

到達目標 以下を本講義の到達目標とする。 (1) 品質と品質管理について説明できるようになる。 (2) 品質の維持、改善のための手法を活用できる。 (3) 品質の維持、改善活動の計画と実行ができる。 (4) 品質管理検定3級、4級検定に対応できる実力を身につける

提出課題 講義の終わりに当該講義に関する小テストを行うことがある。 また、講師内容に関するレポートの提出を要求することがある。 小テスト及び課題の提示はRESPONにより行う

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック 課題に対する評価や質問に対しては、必要に応じて講義内で説明を行う。

評価の基準 (1) 本講義は対面形式で行い、講義の終わりに課題を提示することがある。 (2) 評価は講義への参加度合いと課題の提出状況により算出する。 (3) 授業参加度50点、復習テスト又は課題50点で評価する。 また、課題やコメントについて自主学習が認められる場合には特に評価する。 (4) 授業参加度の確認とコメント及び課題の提示と回収はRESPONにより行う。 講義形態がオンラインに移行した場合にも講義はオンデマンド形式又はLIVEで形式で行い 授業参加確認と課題の提示はRESPONにより行う。

履修にあたっての注意・発言他 (1) 授業の適用方法、評価基準、受講ルール等の重要事項を初回の授業で説明する。履修希望者は第1回目の授業に必ず出席すること。 (2) 講義中の私語、飲食、カバンや飲食物を机の上に並べること及び途中入室、途中退室、携帯電話の使用は厳禁とする。そしてルール違反者は厳重に対応する。 場合によっては退室を命じることもある。 (3) 質問を行う等の積極的な参加を期待する。 (4) 本講義は対面講義を原則とする。しかしコロナウイルスの広がり、その他の理由により、オンデマンド方式やLIVE配信となることがある。授業形式が変更になった場合にも課題はRESPONにより配布、回収を行う。 (5) 履修生の都合や今後の状況変化等の理由により、オンラインやLIVE講義に移行する可能性を考慮して、履修に際しては、エクセルが利用可能であること

教科書 .使用しない。

プリント資料及び参考文献 必要に応じて、プリント又は教材を配布する。加えて品質検定4級の手引き(品質管理検定センター)を配布する。

授業計画 第1回 ものづくりと品質について 第2回 品質と品質マネジメントについて 第3回 行程とプロセスとは 第4回 QCの問題解決方法とは 第5回 QCの考え方、分析方法(データ処理) 第6回 QCの考え方、分析方法(パレート図) 第7回 QCの考え方、分析方法(特性要因図) 第8回 QCの考え方、分析方法(ヒストグラム) 第9回 QCの考え方、分析方法(統計的考え方) 第10回 QCの考え方、分析方法(正規分布) 第11回 QCの考え方、分析方法(散布図) 第12回 QCの考え方、分析方法(管理図) 第13回 QCの考え方、分析方法(チェックシート) 第14回 QCの考え方、分析方法(アローダイアグラム) 第15回 まとめと演習

授業形態(アクティブ・ラーニング) ア: PBL(課題解決型学習) イ: 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態) ウ: ディスカッション、ディベート エ: グループワーク オ: プレゼンテーション カ: 実習、フィールドワーク

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間 シラバスに従った予習と配布された講義内容に基づいた復習を期待する。当該講義及び前回の講義内容について、小テストを行うこともあるので、授業後に復習を行うこと。また小テストの内容は講義では説明をしていない関連項目に及びこともあるので講義テーマについての自主学習を期待する。特に復習については問題意識を持った幅広い自主学習を期待する。
--

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用 「実務経験あり」 過去のプロジェクトマネージャとしての実務経験に基づき、製品とサービスに於ける品質と顧客の関係理解に向けたポイントを解説する。
--

備考 問題意識を持って講義に参加すること。
